

1. 科目名 (単位数)	心理学的支援法 (心理療法) / 心理療法概説 (2 単位)	3. 科目番号	SPMP3353 EDPS3308
2. 授業担当教員	鈴木 康明		
4. 授業形態	講義、演習、討議	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	様々な心理療法の中から、クライアント中心療法、精神分析療法、行動療法、家族療法、芸術療法等の代表的な心理療法を取り上げ、その理論の成り立ちの歴史から概要と意義を学び、それぞれの技法を体験的に学習する。また、それぞれのアプローチにおける適応と限界についての理解を深めることで、クライアント自身や問題に適した心理療法を学ぶ。プライバシーへの配慮を含めた心理療法における倫理を学ぶ。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理療法の諸理論・諸技法について、その背景となる考え方を理解し、それぞれの治療・援助の方法を具体的に知ることで、その考え方や方法を日常生活に応用できるようになる。</li> <li>2. 対人援助の場で、利用者の抱える問題に応じた心理的側面の援助方法を選ぶことができるようになる。</li> <li>3. 訪問による支援や、地域支援の意義について理解している。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 課題レポート (期末試験) を作成する		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】矢澤美香子 (編) 『基礎から学ぶ心理療法』 ナカニシヤ出版、2018		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎回の授業に対して、学生自身の書いたものを通して、基本的事項の理解度を評価する。</li> <li>2. 授業への参加度として、教員からの質問への応答の頻度と根拠を持った発言かどうかを評価する。</li> <li>3. 課題レポート (または、期末試験) の文章が論理的であるかどうか、および基本的事項が盛り込まれているかどうかを評価する。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>授業内の課題シート・学習ノート、授業態度・参加姿勢、課題レポート等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業内の課題シート・学習ノート 総合点の30%</li> <li>2. 授業態度・参加姿勢 総合点の10%</li> <li>3. 課題レポート(期末試験) 総合点の60%</li> </ol>		
12. 受講生への メッセージ	<p>心理療法の理論は、その成り立ちや目的によって対象とするところが異なる一方で、共通する部分もあります。本講義では、心理療法の代表的な基礎理論を取り上げ、その定義、歴史、病理論、アセスメント論、治療論などについて学びます。さまざまな心理援助の考え方や方法を理解し、人の心の悩みへとアプローチする手がかりを得られることが目的です。</p> <p>そのため、表面的ではなく、身になる知識になるよう積極的に講義に参加してください。また、講義や他の人の迷惑になる行為、身勝手なふるまいはしないようにしてください。場合によっては厳しく指導することもあります。</p>		
13. オフィスアワー	授業内で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション：心理療法とはなにか	事前学習	教科書 pp. 3～24 を読んでおく。
		事後学習	「心理療法」「カウンセリング」「精神療法」などの用語の意味と違いについてまとめる。
第2回	クライアント中心療法と内的準拠枠を共感的に理解しようとする	事前学習	教科書 pp. 29～41 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 29～41 をまとめる。
第3回	精神分析的アプローチ (精神分析療法)	事前学習	教科書 pp. 42～53 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 42～53 をまとめる。
第4回	分析心理学、アドラー心理学	事前学習	教科書 pp. 54～78 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 54～78 をまとめる。
第5回	行動療法	事前学習	教科書 pp. 79～92 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 79～92 をまとめる。
第6回	認知療法	事前学習	教科書 pp. 93～104 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 93～104 をまとめる。
第7回	システミック・アプローチ (家族療法)	事前学習	教科書 pp. 208～218 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 208～218 をまとめる。
第8回	ナラティブ・セラピー	事前学習	教科書 pp. 197～207 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 197～207 をまとめる。
第9回	グループアプローチ	事前学習	教科書 pp. 242～266 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 242～266 をまとめる。
第10回	コミュニティ・アプローチ	事前学習	配布資料を読んでおく。
		事後学習	配布資料をまとめる。
第11回	非言語的アプローチ (遊戯療法、芸術療法など)	事前学習	教科書 pp. 219～241 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 219～241 をまとめる。
第12回	ブリーフセラピー (解決志向アプローチなど)	事前学習	教科書 pp. 186～196 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp. 186～196 をまとめる。

第13回	日本発祥の心理療法：動作法を中心に	事前学習	教科書 pp.163～174 を読んでおく。
		事後学習	教科書 pp.163～174 をまとめる。
第14回	心理療法のまとめ	事前学習	配布資料を読んでおく。
		事後学習	配布資料をまとめる。
第15回	訪問による支援、地域支援、心理療法の倫理	事前学習	配布資料を読んでおく。
		事後学習	配布資料をまとめる。